

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2013-2014

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：石崎克弘 幹事：井伊圭一郎 会報委員長：田中孝男

4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

第1516回例会 平成25年11月25日

卓話 「次世代の海外経験の学び」
関西大学国際部
教授 澤山 利広 様
高木会員ゲスト
今週の歌「ロータリーのおじさん」

先週内容

会長挨拶 石崎会長



先週15日は、社会奉仕による炉辺談話に多数出席いただきありがとうございました。有意義な議論ならびに懇親を深めることができました。

フィリピン台風被害は国連人道問題調整事務所によると、死者・行方不明者5,500人、90

ロータリー財団月間

次週 第1517回 例会予告 平成25年12月2日

卓話 「世界経済の現状と見直し」 野村証券江坂営業所長
古武 弥尚 様
高木会員ゲスト

Weekly No. 1516は田中(孝)委員長が担当しました。
Weekly No. 1517は村井副委員長が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

万人以上が家を失うなどの災害状況を発表しています。早急な国際緊急支援活動が待たれます。

くしくも、この10月3日、RI第2660地区では、地区災害支援プロジェクト委員会委員長高島凱夫PGによる「クラブ災害復興支援基金」創設のお願いがありました。

『東日本大震災が発生して、すでに2年半過ぎましたが、復興は遅々として進んでいません。この東日本大震災への支援は数年に亘り行われなくてはならない大きな事業です。

ご存知の通り、豪雨災害など地球規模で様々な災害が発生しております。このような災害に際しては、災害発生直後、如何に迅速な支援を行うかが課題となります。そのことを踏まえこの度、当委員会では、地区内全ロータリークラブに「クラブ災害復興支援基金」の創設を推奨いたします。この基金により、不幸にして災害が発生した時に、クラブ独自に被災地に緊急支援を実施される場合、あるいは地区から緊急支援を目的にクラブへ要請する寄付などに迅速な対応が可能となると確信します。

今後発生するであろう様々な災害に的確に支援の手を差し伸べるため、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。』

尚、第2660地区東日本震災復興支援基金(地区基金)には、我がクラブから5万円寄付をしています。従って、クラブ拠出額に対し同額補助を申請できます。

幹事報告

井伊幹事

- 先週お話ししましたように、今までの感謝状、表彰状等は担当の方へ、20周年CDロムはそれ以降入会の方へお配りしましたので、各自お持ち帰り下さい。
- 持ち廻り理事会報告
1月24日(金)の炉辺談話は、1月23日(木)に変更になりましたので、会員名簿の予定表の箇所の訂正をお願い致します。
- 次週11月25日(月)は定例理事会です。理事の方はお集まり下さい。

出席報告

澤井委員長

- 会員数 50名 ●来客 0名
- 出席会員数 40名 ●本日の出席率 90.91%
- 10月21日の出席率(メーキャップを含む) 100%

ロータリー財団委員会

山岡副委員長

本日、田中(慶)会員、郷上会員より、特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

ニコニコ箱

橋本(徹)SAA

- ◆中堀会員
卓話を記念して。
- ◆石崎会長
ガンバ大阪J2優勝を祝して!!
- ◆永田会員
結婚記念日のお花ありがとうございました。
- ◆山岡会員
誕生祝ありがとうございました。
- ◆田中(孝)会員
ロータリーのバッチをわすれてまして、すみません。
- ◆瀬川会員
炉辺談話勉強になりました。
- ◆木田会員
前回の例会欠席しました。

| | |
|----------|----------|
| 本日のニコニコ箱 | 23,000円 |
| 累計のニコニコ箱 | 641,000円 |

◎橋本(徹)SAA

今月は血液型毎に席を設けております。

A型 まじめ、誠実!

B型 マイペース

性格の素直さがまさっている

O型 一つのことをまっとうしよう

とするバイタリティがまさっ

ている

AB型 頭の回転の速さがまさってい

る

卓話

「社会奉仕について 炉辺談話報告」

澁谷副委員長



平成25年11月15日18時よりくりん亭にて、19名の参加で炉辺談話を執り行いました。議題として、「地区補助金の手続き」につき以下のおりのご意見をいただきました。今後のクラブ運営の参考になると思います。

I. 理事の現行制度に関し

- ①社会奉仕委員長と次期社会奉仕委員長を選任(エレクトのようなシステム)しては、4名の方が同じ意見を出された。
- ②現社会奉仕委員長が、次年度の事業を計画して、次年度に実行しては。
- ③次年度の理事制(5名とも)を導入しては。
- ④次年度会長とのコミュニケーションの必要性を増しては。
- ⑤活動は2年連続制を取り入れては。

II. 補助金に関し

- ①地区補助金ありきの考えではなく、社会奉

仕活動の必要性から判断し、自分たちができる社会奉仕をもう一度考え、自分たちだけのできる奉仕から考えて、その後、補助金が必要かどうかを判断しては、2名の方が同じ意見を出された。

Ⅲ. 現行補助金制度に関し

- ①前年度に行う補助金制度は疑問が残ると思います。ロータリーの単年度システムに反しているのでは。

「体験と将来に備えて」

中堀パスト会長



地球(誕生して46億年)の断面を示します(図①)。直径は約12,700km。表部には5~70kmの地殻(プレート)があります。図に示すように、ある部分が内部へもぐり込んでいます。日本と示した辺りに注目して下さい。

図②は世界で発生した地震の実績です。日本列島付近に多くの点々が見られます。日本は地震国です。図③はプレートがもぐり込む状況を示しています。図④は震源断層と、上の土層に生じる断層破碎との関係を示しました。吹田では岩盤の深さは800~1500mです。図⑤に過去の大地震・津波・台風の巨大なものを並べました。日本はよく記録を残した国だと思います。

図⑥は人文的な歴史を並べました。明治元年(1868)以来、145年経ちますが、戦争も多かったです。その間に、1905年にRI、1920年に日本のロータリーが出来ました。まさに戦争との闘いです。人間関係は和が大切です。平和・円満です。地球も円いです。平和のために頑張らしましょう。

今後の自然災害は、南海トラフ地震、大型台風などが予想されます。安心安全な国土にするため、地盤コンサルタントとして頑張ります。これが私の職業奉仕であります。

2013年度 ロータリー青少年指導者養成プログラム 「秋のライラ」(上級)報告書

日時 2013年10月12日(土)~14日(月・祝)
場所 大阪市立信太山青少年野外活動センター
テーマ 「Be Strong!! 五心を育み絆を深めよう」
主催 国際ロータリー 第2660地区
ホスト 大阪フレンドロータリークラブ



株式会社ビケンテクノ
小林 勇介様

10月12日(土)から10月14日(祝)の3日間、秋のライラ研修に参加させて頂き、貴重な経験ができました。「Be Strong!! 五心を育み絆を深めよう」~素直な心・反省の心・謙虚な心・奉仕の心・感謝の心~をテーマに、青少年指導者としての資質を啓発すると共に、知識と技術の向上を目的としたプログラムに参加させて頂きました。

プログラムは16人参加者がおり、5、6人程のチームに分けられました。私の所属したチームには大学生や社会人、そしてエジプトや韓国から来られた方々がいました。

開講式で、関西大学元理事長 森本靖一郎氏より「強いリーダーの条件」~五省~の話を聞きました。

五省とは、海軍兵学校において用いられた五つの訓戒です。

- 一、真心に反していなかったか
- 一、言行に不一致なかったか
- 一、気力は欠けていなかったか
- 一、十分努力したか
- 一、最後まで手を抜かなかったか

を心の中で自分に問い、その日の自分の行動について自省する事だそうです。一日一日の自分の言動を振り返り、そして反省し続ける事により、今日よりも明日、明日よりも明後日と、自分自身を高め、リーダーシップを高める事が出来ると思いました。

一日目、二日目の午前中は、「ペーパータワー」、「猿ヶ島の平和」、「砂漠で遭難したら」をテーマに、チームで意見を出し合い、まとめた答えを発表しました。私のチームは皆が積極的に自分の考えや知っている情報を発言し、意見が合わない場合は意見をぶつけ合いながらも、互いの意見を尊重し合う事で、より良い答えが生まれていたと思います。

今回のライラ研修で、今回のテーマである五心を育む事や五省をする事を学びました。

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

少しずつですが、自分なりに励み、やがて大きな成果となるよう、今後の業務に生かして行きたいと思えます。

今回の秋のライラ研修に参加させて頂き、ありがとうございました。



株式会社ビケンテクノ
白石 武史様

10月の12日から14日にかけて、「秋の上級ライラ」に参加させて頂きました。

ライラとは、ロータリークラブに所属する若い世代の方が集まってキャンプを行い、普段出来ないような体験を通しリーダーシップを高めることを目的とした青少年育成プログラムです。

今回のライラは「Be Strong！！五心を育み絆を深めよう」というテーマで行われました。

関西大学の森本元理事長の基調講演に始まり、受講生同士で協力し合っの夕食づくり、ボクシングのトレーニングに基づいたエクササイズや、コンセンサスゲーム、水鉄砲でのサバイバルゲーム、焚き火を囲んでのロータリアンとの座談会、ライラで学んだ事の発表など、充実した内容のプログラムでした。参加して初めて体験する事ばかりで、良い勉強になりました。

その中でも私が印象に残った事が2つあります。

一つ目はコンセンサスゲームで体験した、総意を取る事の難しさです。このプログラムは自分たちが砂漠で遭難したと仮定して、持っている装備のうち必要なものの優先順位を同じ班のメンバーで話し合っ決めていくというものでした。

私の班では命にかかわる水を確保するという意見と、砂漠から脱出するための方角がわかるコンパスが必要という意見で分かれて話し合いを行ったのですが、最後まで議論がもつれこみ、結論を出すことができませんでした。このときのルールは全員の総意を取っ決めていくことであり、多数決は禁止です。現実的な考えと理論的な考えが対立したため、お互いになぜこういう考えなのかを説明し、そしてそれを他の人の納得がいくように説明する能力

が求められました。

私は今まで、物事の正否にかかわらず、少数派意見に賛同することで一方的な話し合いにならないよう行動をすることが多かったと思います。今回も直感的にはコンパスの方が重要だと感じつつも、議論を深めていくうちに、メンバー内では少数意見だった水の方が大事に思えてきて、中途半端な発言をしてしまいました。結果として結論を出せなかったのは私のようなどっちつかずな意見の者がいたからだと思います。その為、周りの状況に流されることなくしっかりと自分の意見を持つこと、そしてそれを周囲に伝えることの大切さを学びました。

二つ目はライラに参加している他の受講生の方から学んだ事です。

受講生の方たちはみんな真面目で、強い個性をもっており、それぞれの得意分野で力を発揮してチームに貢献されていました。

同じ班で年長の方は前回参加したキャンプでの経験を生かし、作業のやり方を教えてくれたり、サバイバルゲームで連携を深めるために電話で連絡を取り合う提案をしていたりと、積極性の強い方でした。その他の方は、器用に火をおこせる方、発言をするときに筋道立てて説明できる方、外国人メンバーに難しい日本語の説明をいつも率先して行っくれる方等がいらっしゃいました。そして、顔見知りのいない私に対して優しく声をかけてくれる方が多く、簡単な言葉ですが、とても良い方達に囲まれて過ごせた三日間でした。

私は今まで、優れた能力を持つ強い人間は、他の人を傷つける人もいるという考えを心のどこかで持っていました。しかしそうではなく物事を前向きに捉えて、五心、即ち、「素直」、「反省」、「謙虚」、「奉仕」、「感謝」の心を大切にし、自分の持っている照れや恥ずかしさ、恐怖心などの弱い感情を克服し、他人から刺激を受けて何かを吸収できるような人間になりたい、自分はこういう人間で、こういうことが得意ですとはっきりと言えるような強みを持った人間になりたいと思いました。

今回のライラでは、参加しなければ今後ずっと体験しなかつたろうたくさんを経験させて頂きました。

今後も今回の経験と反省を生かし、社会に貢献できる人材になりたいと思えます。ありがとうございました。